

第3回ワークショップ結果概要

引田・代継・網代区域（網代）

日 時：平成30年11月23日（火） 19時～21時

会 場：網代会館

参加者：13人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第2回ワークショップまでのふりかえり
 - ・第1回ワークショップで出たご意見
 - ・第2回ワークショップで出たご意見

（参考）各区域における第2回までの検討結果概要
4. グループワーク
 - （1）この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認
 - （2）それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？
5. ふりかえり、閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法等、第1回ワークショップにおいて詳説した事項を再度簡単に説明するとともに、第2回ワークショップまでにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

第2回ワークショップまでの議論を踏まえて事務局が設定した「この地区の交通サービスの方向性（素案）」に関して、参加者の考えとのずれがないかどうかを確認いただいたところ、サービスの目的、主な利用者の想定についてそれぞれ修正意見をいただいた。

■グループワークの結果2：それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

「グループワーク1」の結果も踏まえ、それぞれの交通サービスに関するサービス内容や、メリット、デメリットを参加者の方々に挙げていただいた。

その後、テーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有するとともに、全体のまとめを行い、本日のグループワーク結果を参加者にご確認いただいた。

【グループワーク1】この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

①この地区のサービスの目的

【素案】

高低差や狭い道幅に配慮した交通を確保する。

【いただいたご意見】

- ・主な利用者の「足を確保すること」が目的ではないか。
- ・買い物、通院交通の確保。
- ・「小型車の」交通確保。

②主な利用者の想定

【素案】

- ・（将来的に）免許返納をした方
- ・自分で車を運転できない方*

※なお、この「自分で車を運転できない方」には、運転免許を持っていないなど継続的に車を運転できない方と、病気やケガなど、若い人でも一時的に車を運転できなくなかった方を含むととらえている。

【いただいたご意見】

- ・家人が車を使っている、お酒を飲んだなど、運転出来るけれど「たまたま」車が使えない場合への対応。

③導入を検討したい交通サービス

【素案】

分類	サービス内容	備考
1) タクシー代の補助	・ タクシー代を補助する。	・ 利用券の配布。
2) 住民主体の交通（近所同士の相乗り）	・ 住民の自主運行による交通手段を導入する。	・ 出来れば市から自治会へ車両を貸与。
3) 定路線型の交通（乗合タクシー）	・ 決まった路線を運行する。	・ 行政と地域で費用分担。 ・ 小型の車両での運行。
4) 自転車の共同利用	・ 地区のみんなが使える電動アシスト付き自転車などを導入する。	・ 出来れば市から自治会へ電動アシスト付き自転車を貸与。
5) 大手スーパー等による送迎バスの運行	・ 大手スーパー等による無料の送迎バスの運行。	

【いただいたご意見】

- ・「企業等送迎バスへの混乗¹」を追加。

¹ 当初は「幼稚園バス」でしたが、グループワークの結果、幼稚園バスへの混乗は難しい一方、ゴルフ場や霊園等の送迎バスへの混乗というご意見が出たため、表現を改めました。

【グループワーク2】それぞれの交通サービスにはどのようなメリットとデメリット(良い面と悪い面)がありますか？

①サービス内容に関するご意見

分類	サービス内容の提案等
1) タクシー代の補助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰に補助をするのか、支給基準の設定が前提となる。 ・ タクシー会社への登録制(利用者、行き先等)とし、それによって送迎料金を安くする。
2) 住民主体の交通(近所同士の相乗り)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転手への謝礼、ガソリン代等の規定が前提。 ・ 曜日を定めるなどの定期運行。 ・ 乗り場を決める。
3) 定路線型の交通(乗合タクシー)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買物時間帯に合わせたサービス。 ・ できれば午前、午後各2往復してほしい。 ・ 網代だけでなく高尾など広域をカバーすることで使い勝手を良くする。 ・ ハイエース等の小型車を導入する。 ・ 地区専用車という考え方もある。
4) 自転車の共同利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴルフカートや電動スクーターも含める。
5) 大手スーパー等による送迎バスの運行	
6) 企業等送迎バスへの混乗	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴルフ場、霊園バスへの混乗。

②交通サービス（候補）のメリット・デメリット

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1) タクシー代の補助	・タクシー代を補助する。	・ドア to ドアの交通が可能。 ・個人に対応しやすい。 ・経済的に助かる。 ・時間の融通や自由が利く。	・使いにくい時間（朝夕など）があるため、仕組みづくりが必要。
2) 住民主体の交通（近所同士の相乗り）	・住民の自主運行による交通手段を導入する。	・ドア to ドアの交通が可能。 ・目的地が同じ人同士であれば使いやすい。 ・コミュニケーションが生まれる。 ・仕組みを確立すればタクシーより使い易くなる可能性がある。 ・ドライバーが顔見知りであるがゆえに安全。	・利用時間や料金設定の調整が必要。 ・運転手の確保。 ・スケジュール調整（運転者、利用者、行き先）が大変。 ・利用したいときに使えない可能性がある。 ・費用負担が必要。 ・安全、事故対応をどうするか、誰が責任を負うのか（運転者の責任も大きい）。 ・乗り場が遠いと使えない。
3) 定路線型の交通（乗合タクシー）	・決まった路線を運行する。	・専門の運転手がいるのなら安心して乗れる。 ・仕組みを確立すれば利用者が増える可能性がある。	・利用できる時間が制約される。 ・遠回りになることがある。 ・家から乗り場が遠いと大変。 ・利用者がいないとサービスが無くなる不安があり、利用者確保する仕組みづくりが必要。
4) 自転車の共同利用	・地区のみんなが使える電動アシスト付き自転車などを導入する。	・個人で利用しやすい。 ・使いたいときに使える。	・道路が狭く、下り坂などは怖い、危険。 ・電動だと車体が重く、転んだ時に大変。事故にもつながる。 ・このため高齢者には不向きであり、乗れる人が限定される。 ・坂を上る際や雨の日は大変。 ・自転車利用者はカーブミラーを見ないなど、車道走行時のルールを徹底する必要がある。 ・充電の管理が発生する。 ・使いたいときに使えないことがあり得る。
5) 大手スーパー等による送迎バスの運行	・大手スーパー等による無料の送迎バスの運行。		・企業側との調整が必要だが、実現は難しいのではないか。 ・スーパー側の規定（例：2000円以上の買い物で利用可等）が必要。 ・事故の際の責任。
6) 企業等送迎バスへの混乗	・ゴルフ場、霊園バスへの混乗。	・利用者を降ろした後の空車が活用できる。	・路線が決まっており、乗降場が限られる。 ・利用時間が限られる。 ・仕組みづくりが重要。

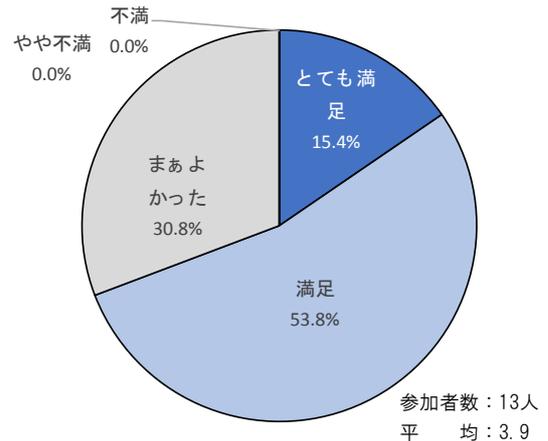
■ 第3回ワークショップの様子



■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満



平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの

○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・なかなか決定に至るには難しい。
- ・ゴルフ場のバスが網代の方も通ってくれたら良いですが、あまり人が乗っていない様なのでもったいないと思います
- ・交通サービスのメリット面とデメリット面が分かりやすく、又、色々な意見がでたので良かったと思います
- ・自転車に乗ろうと思っていたのですが、色々聞いてあぶないと発見、乗るのを考えたい。
- ・何をやるにしても仕組み作りが大切
- ・だんだん実現できそうな感じになって来た
- ・前回までに話し合った内容が具体的になってきた。また問題点が見えてきた。

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・進行役が分かりやすく話をしてくれた事。
- ・進行役の人がとてもわかりやすかった。
- ・進行役の人が意見や発言に対して一切否定せず、受け入れ、うまくまとめていたことに好感を持った。
- ・新しく幼稚園バスの混乗についての意見があった。

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・交通サービスのメリット、デメリット分かりやすかった。
- ・3回目を迎え大分意見がまとまりましたが、実現する方向に向かうか心配。
- ・主な交通サービスを絞り込んでいくのが良かったと思います。これから色々検討して、よりよい交通手段ができればいいと思います。
- ・グループワークが良かった。
- ・今回は話し合いの視点が分かりやすかった。
- ・今後の課題としてメリット、デメリットを良く議論して、よりよい交通サービスを導入してもらいたい。
- ・資料が分かりやすく進められた。
- ・自由に話が出来た事、進行役の方がまとめて書いて下さった事。